

安全上のご注意 警告、注意及び結線方法の内容をよくお読みの上ご使用ください。

感電、焼損や発熱による火災の原因になります。

- 警告**
- 器具に表示されている定格を超えて使用しないでください。
 - 使用する電線の選定は許容電流などを考慮して行ってください。
 - 端子ねじの締付けが緩い状態で使用しないでください。
 - 適用電線以外のものは使用しないでください。
 - より線を半田あげして接続しないでください。
 - 水のかかるところでは、使用しないでください。

- 注意**
- 本製品は引掛形器具ですので、対応するコネクターなどに差し込み右に回してロックした状態でご使用ください。
 - 濡れた手で触れないでください。
 - カバーなどに亀裂が発生した状態では、使用しないでください。
 - 刃の曲がったプラグは使用しないでください。
 - プラグを中途半端に差込んだ状態では使用しないでください。
 - 油・洗剤などをかけないでください。
 - 直射日光はなるべく避けてご使用ください。

適用電線

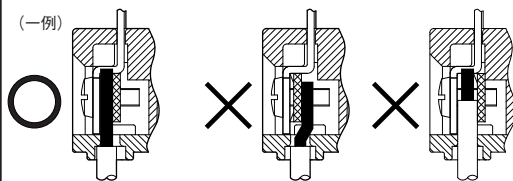
2CT, 2RNCT	3.5mm ² ・5.5mm ² 4心
2PNCT	3.5mm ² ～8mm ² 4心
VCT, S-VCT	3.5mm ² ・5.5mm ² 4心
CTF, RNCTF	5.5mm ² 4心

※CTF, RNCTFは300V以下でご使用ください。

結線方法

- ・圧着端子接続の場合
適用電線の被覆をストリップ寸法に合せて剥き、必ず適用圧着端子を使用し、適正工具にてカシメてください。端子ねじを外し、電線にカシメた圧着端子を端子ねじに組込んで、確実に締付けてください。
(下記の端子ねじの推奨締付けトルクを参照)
- ・はさみ込み接続の場合
適用電線の被覆を右図のストリップ寸法に合せて剥き、端子ねじをゆるめ、心線が座金と端子の間に入るように差込み、確実に締付けてください。
(下記の端子ねじの推奨締付けトルクを参照)

(一例)



正しい結線状態です。
心線は奥までしっかり差込んでください。

心線が座金の裏に入らないようにしてください。

座金が電線の被覆を挟み込まないようにしてください。

- ・端子ねじの推奨締付けトルク：1.35N・m～1.5N・m
- ・プラグ本体に電線を結線した後、プラグ本体をゴムボデーに挿入し、取付ねじで固定してください。
(プラグ本体とゴムボデーは、右図のようにプラグ本体の▲(矢印)マークとゴムボデーの●(凸部)マークの位置を合わせて挿入し確実に締付けてください)
- ・電線は、コードグリップでゴムボデーが著しい変形をしないように確実に締付けてください。

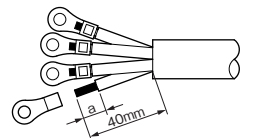
注) 極性を合わせて結線してください。機器によっては逆回転する場合があります。

適用圧着端子

3.5mm² …… R3.5-5
5.5mm² …… R5.5-5
8mm² …… R8-5

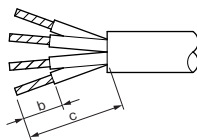
電線ストリップ寸法 (参考値)

【圧着端子接続の場合】



a 寸法: 3.5mm² …… 7mm
5.5mm² …… 8mm
8mm² …… 11mm

【はさみ込み接続の場合】



品 番	b 寸法	C 寸法
MH2579	20mm	50mm
MH2580	25mm	55mm
MH2581		

※心線はよじってください。

